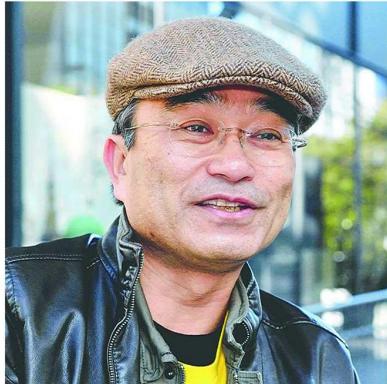


備え 3.11から

第65回 ボランティアから見た震災2年

被災地のニーズ知ろう



ボランティアに参加する

愛知ボランティアセンター 久田光政代表

ひさだ・みつまさ 1956年生まれ。愛知県瀬戸市出身。東海中学・高校（名古屋市東区）の教諭をする傍ら、東日本大震災発生後の2011年3月17日に被災者を支援するため愛知ボランティアセンター（名古屋市熱田区）を設立。阪神大震災で保護者を亡くした子どものために奨学金を贈る会を発足。東日本大震災から

ボランティアは何をしているのか。被災地へ物資を送り、被災地で活動するボランティアが活動する場所を募っていきたい」と語る久田さん。

東日本大震災から

東日本大震災から2年。被災地で活動したボランティアから見た震災とは何だったのか。その教訓は南海トラフの地震はどう生かせるのか。名古屋市を拠点に東北の被災地で長期支援を続ける「レスキューストックヤード」の栗田暢之代表理事（48）と「愛知ボランティアセンター」の久田光政代表（56）に聞いた。

(中村慎一郎)

ボランティアが殺到して

いきたい」と思っている。

久田さん

久田さん